

第 23 回 近代洋風建築研究会

テーマ：『フランスの様式建築～中世から近代へ～』

日時：8月27日(火) 16時～20時30分 (受付開始 15:30)

会場：日本建築家協会 JIA館 (1階建築家クラブ)

協賛：JIA 建築交流部会 <資料代ほか:1000円>

今回は、フランスに留学され、ゴシック建築を中心にフランスの様式建築がご専門の羽生修二さん(東海大学名誉教授)にご講演いただきます。
サン・ドニからパリ、アミアン、モン・サン・ミッシェルへとフランスのゴシック建築が構造との闘いの中でいかに変遷していったのか、そして、それを構造合理主義的に解釈したヴィオレ・ル・デュクの建築理論が近代建築(ガウディ～コルビュジェ)にどのような影響を与えることになったのかについて、お話しいただき、最後に、今話題のノートルダム大聖堂の成立と改変、そして、今回の火災に至る状況をお聞きしたいと思います。(観音)

第 1 部 16:00～17:15 ゴシック大聖堂と構造合理主義

ゴシック建築の構造合理主義が近代建築に及ぼした影響

第 2 部 17:30～18:45 パリ大聖堂とヴィオレ・ル・デュク

パリ・ノートルダム大聖堂の歴史とヴィオレ・ル・デュクの修復

第 3 部 19:00～20:30 講師を囲んでの情報交換会

気軽なポットラック・パーティ(持ち寄り)です(入退室自由)

飲み物とおつまみを各自1品ご持参下さい(又は調達協力として+1000円)

★第 24 回は 9 月 25 日 (水) <於: JIA 館 5 階 A 会議室 (予定)>です。

講師: 加藤耕一(東大教授)「様式建築の保存と再生」(仮題)

会場案内: JR「千駄ヶ谷駅」、都営地下鉄「国立競技場」からは、外苑西通り東側、新オリンピック競技場(建設中)の向こう南隣(外苑西通り陸橋たもとのビル<JIA館>:外苑西通り入り口<G階>から入ります)この場合、タクシー(410～490円)がお勧めです。(*注:通りからは1階上です)
地下鉄「外苑前」(出口3)からは、外苑西(キラ)通りに出て北に7分、陸橋たもとのビル<JIA館>入り口(G階)から入り、エレベータまたは階段で1階上がり、廊下突き当り、建築家クラブです。又は、外苑西通りを渡り、「猪瀬酒店」横の熊野通り(斜め)を歩いて4分、「熊野神社」右折1分、「新川屋酒店」左折1分、すぐ右の2つのJIAビル間の小さな駐車場を経て、左側ビル(脇道左に入り口)に入り(1階:上記)そのまま右突き当り。このルートは慣れないとわかりにくい。

